

第1回家庭部門会議の概要

1. テーマ エネルギーの「見える化」の取組促進

2. 目的

- ・家庭における省エネを促進するためには、府民一人一人が自らのエネルギー使用状況を正しく知った上で、省エネに取り組んでいただく必要がある。
- ・HEMS の導入、スマートメーターの活用、うちエコ診断など、家庭におけるエネルギー使用量の「見える化」についての最新動向を把握し、それぞれニーズに合わせた普及拡大を行うことで、家庭でのエネルギー使用状況の把握をサポートする。

3. 会議の開催

(1) 日時：平成25年10月30日（水）午前10時～正午

(2) 場所：大阪府咲洲庁舎23階 中会議室

(3) 出席者：

【消費者団体、環境NPO】大阪府生活協同組合連合会、なにわの消費者団体連絡会、全大阪消費者団体連絡会、(公社)全国消費生活相談員協会関西支部、(公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会西日本支部、NPO法人関西消費者連合会、NPO法人住宅長期保証支援センター、NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議、NPO法人摂津市人材サポート・ビューロー、NPO法人大阪環境カウンセラー協会

【HEMSメーカー】パナソニック（株）

【エネルギー供給事業者】関西電力（株）、大阪ガス（株）

【自治体等】近畿経済産業局、大阪市、堺市、貝塚市、大阪府、大阪府地球温暖化防止活動推進センター

(4) 概要

- ・家庭におけるエネルギー使用状況および「見える化」の取組みについて事務局から説明。
- ・大阪市から環境家計簿及び見える化機器貸出しの取組み、大阪府地球温暖化防止推進センターから「うちエコ診断事業」、関西電力（株）からインターネットによる電気使用量のお知らせ照会サービスや省エネコンサルティングなどの家庭の省エネに関する取組み、パナソニック（株）からHEMSについて、それぞれ紹介があった。
- ・各消費者団体・環境NPOから「見える化」や省エネ等に関する取組についての紹介があった後、「見える化」の普及方策等について意見交換を実施。

(5) 会議での主な意見

- ・子供への啓発活動によって、子供の家族が見える化や省エネを考える機会を増やせばよい。年代別によって取り組むべき「見える化」が違うので工夫が必要。
- ・「見える化」に関心を持ち続けてもらうことが非常に困難。省エネランキングや、サービス・小売事業者と連携したインセンティブを与える仕組みなど、励みになることを工夫して提供していく必要がある。
- ・地域全体の方向性がまずはっきりしないと、個別の家庭部門の「見える化」をどうするのかというところだけに特化した議論は難しい。
- ・検針票に前年度に比べて使用量がマイナスなのかプラスなのか書かれていることを、もっとPRしてはどうか。折角、先進的な取組みをしているので、チラシ等の記載をもっとわかりやすくしてほしい。
- ・一般府民にとって、HEMSが何なのか分かりにくい。既存住宅でどうしたらいいのか見えてこない。